

ショパン マズルカ全曲 連続レクチャー・コンサート 全5回シリーズ

マズルカを極めよう! Vol.4

第4回演奏曲目 マズルカop.56／op.59／op.63(全9曲)

日本ではこれまで、ピアノのレッスンや発表会の演奏曲としてさえ、ショパンのマズルカが教材として用いられることの少ない(殆どないに等しい)状況でした。ワルツやノクターンは誰でも教え誰でも弾き、また誰からも好まれています、多くの人が「マズルカ」というショパンの神髄にふれる出会いのチャンスを持てなかったのが実情です。ところが、ショパンにとっては、「マズルカ」こそ彼の人生の日記代わり―彼が生涯をかけて書き続け、後世の世界中の人々に伝え遺したかったジャンルでした。亡命者として異国の地で生き、二度と祖国を見ることなく39歳の若さで病死した彼の孤高の精神、人としての魂がこめられた作品群であり、実はワルツやポロネーズにまでマズルカのリズムや要素が溢れています。

このレクチャー・コンサートでは、音楽関係者のみならず一般の方がたも対象に、マズルカの基本(オベレク・マズール・クヤヴィアク)を映像も用いて解りやすくお伝えし、それらをショパンがどのように「芸術」に昇華させていったのか、レクチャーを交えて全曲、作品番号順に実際の演奏をお聴きいただきます。皆様の耳と心に残る大切な時間になれば幸いです。(北村智恵)

2026.3.25 水

開演 19:00 (開場18:30)

一般 3,000円 税込 学生 2,000円 税込

高槻市立総合市民交流センター
クロスパル高槻(8F イベントホール)
JR高槻駅東隣 徒歩2分／阪急高槻市駅 徒歩10分

土居知子

ピアノ演奏



京都市立堀川高校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業および同大学大学院修了。その後、ドイツ国立ドレスデン音楽大学大学院、同大学マイスタークラスを“最優秀”の成績を得て修了。第8回飯塚新人音楽コンクール第1位、第38回マリア・カナルス国際音楽コンクール第3位、第5回カントウ国際ピアノ協奏曲コンクール第2位(1位なし)等のほか、神戸新聞松方ホール音楽賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤堂音楽賞等、国内外での受賞多数。ソロ活動のみならず、近年では歌曲伴奏や室内楽のアンサンブルピアニストとして、多くの音楽家からの信頼を得て多彩な演奏活動を行う。また、2018年にはソロCD『モーツァルトピアノ変奏曲集(ナミ・レコード)』をリリースし、好評を得ている。現在、様々なコンクールにおける審査員やセミナー講師を務めながら、京都女子大学教授として後進の指導にもあたっている。日本ショパン協会関西支部理事、日本ドイツリート協会副会長。



レクチャー講師

北村智恵

音楽教育家・音楽学者。ピアノ指導、楽譜の監修・校訂、作・編曲、CDの楽曲解説やコンサートのプログラムノート・新聞・音楽雑誌への執筆等、長年に及ぶ。相愛大学在学中より三十数年にわたり故・佐藤允彦氏(ポーランド国家文化功労賞受賞、ショパン作品の研究に多大な功績を残した第一人者)に教えを受け、独自の研究を続け現在に至る。大阪府文化振興財団主催セミナーコンサートやショパン・ピアノ作品全曲レクチャーコンサート、独自のショパン・ピアノ作品連続講座の講師も長年務め好評を得る。ショパンに関する音楽雑誌への執筆も多く、「ショパンへの道」「ステップ・トゥ・パッハインヴェンション」(いずれも音楽之友社)はじめ、ピアノ曲集、書籍等、著書多数。とりわけ「プロの常識・ピアノを教えるための全10章」(音楽之友社)は、ピアノ指導者の「教科書」「バイブル」と評価されている。日本ショパン協会正会員。関西支部長、理事。

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人 ムジカ工房 info@musicakobo.com ちえの輪倶楽部 chienowclub@outlook.jp TEL:072-689-0727

主催:一般社団法人 ムジカ工房 協力:ちえの輪倶楽部 後援:カワイ梅田 日本ショパン協会 関西支部

メールでの
お申し込み

